

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年7月5日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 経済学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年7月6日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University long Beach(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年8月～2025年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 1月下旬～5月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	
創立年	

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 () (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	13600	0円	
宿舍費	13000	0円	
食費	0	0円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	450	0円	1ヶ月 45\$
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
旅費(留学中)	1500	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	50000 円	ワクチン代
保険費	0	15000円	形態: 明治+CSULB
渡航旅費	0	300000 円	
ビザ申請費	0	800000 円	ビザ申請料と SEVIS 費
雑費	1000	0 円	生活必需品
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	29550\$ (=4432500 円)	445000 円	
総計(A+B) ※円		4877500 円	1\$=150 円で計算

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のサービスに登録し、情報を得ることをお勧めします。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

角部屋のため、通信は若干悪かったが、日常生活には師匠がない程度。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で講座開設、ワイズで送金していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

日系スーパーなどあるので、食料雑貨など日本製、日本ブランドのものは調達は容易ですが、高いので荷物に余裕があれば持っていくことをお勧めします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に日本でクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Principles of Sociology		社会学基礎
科目設置学部・研究科		
履修期間	2024 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が2回	
担当教授	Oliver Wang	
授業内容	Social norm, Gender, Class, Marriage, Education など	
試験・課題等	レポート2個。オンラインディスカッション4つほど。毎週の小テスト。出席。	
感想を自由記入	アジア系の教授で授業に内容も容易なため、向こうの授業に慣れるのにお勧め。ただ、大講義のため友達はできにくい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Citizenship	世界市民権
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Kimberly Walters
授業内容	環境問題や時事問題、Critical thinking, SDGs について
試験・課題等	テスト 4 回、課題、小テスト
感想を自由記入	内容も小難しく、課題も多く負荷が重かった。教授と生徒のディスカッションで授業が進むので生徒の発言が聞き取れず辛かった。しかし、教授は優しく評価は甘めの印象。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Steven Rousso-Schindler
授業内容	様々な国の文化、家族や結婚、ジェンダーについて、世界史
試験・課題等	Mid term × 2, Final exam
感想を自由記入	出席はないが、毎回単語の定義の書取りがあり、出席推奨。専門用語知識が多く、範囲も広い。テスト3回で成績がきまるので、合わないときゃッチアップが大変。あまりお勧めしない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to American Government	アメリカ政治基礎
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Rich Haesly
授業内容	アメリカの建国史、州ごとの法律、政治の基礎
試験・課題等	テスト3回、エッセイ3回
感想を自由記入	内容は興味深かったが、アメリカの政治システム自体が難解かつ、州ごとにフォーカスすると内容が膨大なため、基礎知識がないと留学生にとってはついていくのが大変かもしれない。教授がとても早口かつもご喋るので、聞き取るのは大変だった。スライドを読めば、大枠は捉えられた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Environmental Issues of the World Economy	環境経済学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Mauri Rummel
授業内容	基礎的なマクロ経済学、生の外部生、負の外部生
試験・課題等	グループ課題3回、HW8回、テスト3回
感想を自由記入	経済的利益を損なわない環境保護政策を考えたり、内容は大変興味深かった。テストも課題も多いがみになる授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Money and Banking	金融論
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Shirin Lakpour
授業内容	アメリカの金融システム、マネタリーベースについて
試験・課題等	毎週の教科書附属課題、テスト3回、グループディスカッション1回
感想を自由記入	内容は難しかったが、教授は優しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Development Economics	開発経済学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Jason Gurtovoy
授業内容	発展途上国、南北格差、男女格差
試験・課題等	レポート4回、テスト3回
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 170 分が 1 回
担当教授	Hyunhwan "Aiden" Lee
授業内容	マーケティングの基礎
試験・課題等	授業内クイズ、テスト3回
感想を自由記入	教授の英語も聞き取りやすく内容も興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
tennise	テニス
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025 春
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が0回
担当教授	Matthew Harris
授業内容	テニス
試験・課題等	実技とルールに関するオンラインテスト
感想を自由記入	受講生の雰囲気がとてもよく友達もたくさんできたのでお勧めです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	出願、応募
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	受け入れ許可が届く、授業料支払い、寮の申し込み、ワクチン
	8月～9月	渡米
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

国内でも英語力やコミュニケーション力を磨くことはできますが、10ヶ月という長期間、母国を離れ、自分から積極的に一から人間関係を築いていくという経験は、日本ではなかなか得られない貴重な体験です。また、異国で生活する中でしか得られない学びや気づきも多く、視野が大きく広がります。

留学の目的や行き先は人それぞれですが、どこに行っても「自分から積極的に動く」ことを忘れなければ、多くの学びが得られると思います。ただし、楽しいことばかりではありません。留学に行っただけで自然と成長できるわけではなく、自ら行動し、時には失敗を繰り返しながら、「なりたい自分」と「現実」のギャップを埋めていく、その積み重ねの中で本当の意味で成長できるのだと思います。

目標を持って取り組めば、きっと楽しく、充実した留学になるはずです。帰国後にどんな自分でありたいか、その思いを忘れず、頑張ってください！！